



園だより 8月号

Keiaigakuen
君がここにいるから

敬愛高倉保育園

<http://www.keiaigakuen.com>

2026. 7. 28

♪なつ～ なつ～ だ～いすきな～ なつがやってきた～♪

まぶしい太陽が照りつけ、青空には入道雲が広がり、セミの元気な鳴き声も響き渡る季節となりました。晴れた日には暑さ指数を見ながら、さくらのおにわ・みんなのおにわで水遊び、プールにどろんこ遊び、絵の具遊びなどをして涼をとりながら楽しく過ごしております。

また、夏のおい、音など、五感を刺激する遊びの中で、「たのしい!」「やってみたい」という気持ちを大切に、一人一人の豊かな心と体を育てまいります。

◆水を使った様々な遊びを 満喫しましょう◆

- ◎色水遊び
- ◎絵の具遊び
- ◎プール遊び
- ◎水や氷を使った遊び
(水や氷の冷たさを感じる。
氷に色をつけて造形遊びなど)
- ◎水鉄砲
- ◎水風船 ◎泡遊び ◎寒天遊び
- ◎水に浮くもの沈むもの研究
(船などを作り水に浮かべたり、
水の流れをつくって動かしたりする。
耐水性のある素材を知る。)
- ◎泥んこ遊び
(水を含んだ砂の感触の違いに気付いたり、
全身を使って作る楽しさや造形の面白さを感じたりする。
水を流し入れて流れを楽しむ。)



◆「暑い夏も健康で 元気に過ごしましょう」◆

夏特有の感染症や夏バテ、熱中症を予防していきましょう!

- ◎手洗い・うがい
(うがいは「ま・ほ・おー」と声を出すと
喉の奥のばい菌を流すことができます。)
- ◎部屋を冷やしすぎない
(湿度50%～60%が目安)
- ◎規則正しい生活
(栄養バランスの良い食事・十分な睡眠)
- ◎熱中症の予防
(帽子をかぶる・長時間戸外で遊ばない)
- ◎こまめな水分補給
(冷たいものを飲みすぎない)



◆プレイデイ についてのお知らせ◆

9月26日(土)高倉小学校体育館でプレイデイを開催いたします。今年度は幼児組のお子さまが参加いたします。当日は、ごきょうだいのみなさま、乳児組のみなさまも参加できる種目もございますので、是非遊びにいらしてください。

一生懸命頑張るお子さまの姿を、会場のみなさまで温かく見守り、大きな拍手と声援をお願いいたします。お子さまたちにとって、ご家族やごきょうだい、お友だちの声援は力になります。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

コスモス組

★わくわく!よるまでずーっと

うっぴょっぴょキャンプ★

コスモス組になりわくわくする毎日を過ごす中で「ほいくえんにとまってみたい!」と意見があり今年度はお泊まりでキャンプを実施いたしました。お子さまたちがどんなキャンプにしたいのか意見を出し合いキャンプの題名は「わくわく!よるまでずーっとうっぴょっぴょキャンプ★」に決定。

「よるまでずーっと!なにがしたいかなあ」とアイディアを出し、それぞれ役割も決めました。

当日は、初めての木育体験!東京・森と市庭^{いちば}さんが登場し、チェーンソーを使って大きな丸太を間近で切る様子を見学しました。その後は、実際に木材を使った遊びを体験。イメージを膨らませてどんな物を作るか、夢中になって考え、楽しんでいるお子さまたち。一人ひとりが思い思いに「木」を組み合わせ、世界に一つだけの作品が完成しました!モノづくりの楽しさ、木の温もりを味わう時間となりました。

「収穫したじゃがいもを使ってカレーを作りたい!」「虫を捕まえるために、仕掛けを作りたい」「キャンプファイヤーでは、はなびがしたい!」「きらきらしたプールにはいりたい」一人ひとりが、リーダーとなり、それぞれ役割に責任を持ち、取り組む中でお友だちと協力する大切さや人の役に立つ喜びを感じることが出来ました。

1泊2日のキャンプを通して、「やってみたい!」を叶えたことで、自信にも繋がりが仲間との絆もより一層深まる時間となったのではないのでしょうか。



●8月の主な予定●

8月以降の予定は、アプリ「さくら Days」のカレンダー、行事一覧にてご確認ください。
※布団乾燥は、8月中の土曜日に行います。

◆引き渡し訓練◆

9月1日(火)は大規模な地震が起きたことを想定し、大切なお子さまの安全を守り確実に引き渡すことを目的とし「引き渡し避難訓練」を実施致します。

保育園では災害時に備えて食料や水の備蓄を5日分用意しております。また、お子さまの安全を第一に考え火災・地震を想定した避難訓練を毎月行っておりますが、災害時に備え「引き渡し訓練をする」ことも義務付けられております。

10:00から避難訓練を行います。その後引き渡し訓練を行います。お迎えが可能な方はお迎えをお願い致します。

10:00にお迎えが難しい方は通常通りのお迎え時間に実施致します。引き渡し訓練参加対象者(お迎えに来られる方)は、提出いただいております緊急連絡先に届け出のある方とさせていただきます。

お迎えにいらっしゃいましたら、【お子さまのクラス名・お名前・お子さまとの関係(父・母・祖父・祖母等)】をお伝えください。

また、緊急連絡先並びに災害時お迎えに来られる方一覧の変更がないか確認をしていただきます。災害時を想定し、どのような交通手段で園まで来られたか、かかった時間なども伺います。ご協力よろしくお願い致します。

※災害伝言ダイヤル171の利用

方法の確認をお願いいたします。(詳細につきましては別途お知らせいたします。)



●職場体験・実習生●

*8月13日(木)~8月14日(金)

高校生職場体験

*8月21日(金)

小学1,2,3年生交流会

*8月24日(月)~9月5日(土)

保育実習生1名 専門学校生

*8月31日(月)~9月12日(土)

保育実習生1名 大原専門学校生2年生

落雷からお子さまを守るために ～屋外での活動中における高校生の落雷事故の発生を受けて～

令和 8 年 7 月 28 日
敬愛学園 安全計画推進 PJ

令和 6 年 4 月におきた高校生の落雷事故（屋外でのサッカー活動中、落雷により 18 名が病院へ搬送、うち 1 名が意識不明の重体）を受けて、文部科学省より事務連絡があり、敬愛学園では落雷事故の防止に取り組んでおります。

雷が多くなる季節を前に、園としてより一層の取り組みを強めていこうと検討し、次の通り行って参ります。

保護者の皆様のご理解ご協力を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

【園での取り組み】

◆屋外での教育・保育活動においては、落雷の危険性を認識し、事前に気象情報を確認するとともに、天候の急変などの場合にはためらうことなく計画の変更・中止等の適切な措置を講じます。

◆屋外での教育・保育活動中、厚い黒雲が頭上に広がった際には、雷雲の接近を意識し、雷鳴が聞こえるときは、落雷を受ける危険性があるため、すぐに安全な場所に避難します。

＊鉄筋コンクリート・避雷針がある建物（高さ 20m 以上、6～7 階建て）
園バス（周囲に建物が無い場合）など



◆気象庁ホームページにおいて、「雷注意報」の発表状況や、実際にどこで雷発生の可能性が高まる予測となっているのかを地図上で確認できる「雷ナウキャスト」などの情報を活用します。

◆職員は落雷による事故防止の研修を行っています。

◆お子さまは全てのことに興味関心があるのと同じく、雷のことも知りたがっています。お子さまの「なぜだろう?」「どうしてだろう?」に基づき、お子さまと一緒に積乱雲の特徴や雷について、「天気の本」で調べるなどしながら、平時より気象災害への対応ができるよう備えてまいります。



【参考】

気象庁 | ナウキャスト（雨雲の動き・雷・竜巻） ([jma.go.jp](https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/))

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

「教えて！フランクリン先生（閲覧用）」（-PDF：5.7MB）.pdf (franklinjapan.jp)

子どもの水の事故を防ごう！

～水辺で遊ぶときは、危険箇所等を事前に把握し、ライフジャケットを着用しよう～

令和8年7月28日
敬愛学園 安全計画推進PJ

子どもが水辺で遊ぶことは、五感が刺激され、バランス感覚や筋力・体力など身体能力が養われたり、大人の見守りのもと、水の面白さや怖さを体験的に学ぶことで、危機管理能力の発達にもつながります。何より、自然の中で様々な生きものを発見する楽しさや、水の冷たさ、心地よさなどの気持ちを共有したりすることは、家族や仲間との絆をより一層深めます。

一方、厚生労働省「人口動態調査」によると0～1歳では浴槽での溺死、より活動的になる5歳以上では、自然水域での溺死が最も多く発生しています。

子どもの水の事故を防ぐため、関係機関から呼び掛けられている水の事故防止のためのポイント及び、園における安全への取り組みを以下にお知らせいたします。



【海での水の事故を防止するためのポイント】

- ライフセーバーや監視員等がいるなど、適切に安全管理が行われている海水浴場で、指定された遊泳エリア内で泳ぐ。(遊泳禁止エリアでは、絶対に泳がない)
- 海の状態は、日ごと、時間ごとに変化するため、風の向きや波の高さ、満潮か干潮かをしっかり確かめてから入る。大人は子どもから目を離さず手の届く範囲で見守りを行う。
- 河口付近、堤防沿い等の人工物付近、岩場など離岸流が発生しやすい場所には入水しない。
 - * 離岸流(リップカレント)とは、沖に向かって発生する強い流れのことです。
 - * 海水浴場における溺水事故の自然要因の多くが離岸流によるものです。
- 堤防で釣りをする際、海への転落の危険があるため、滑りにくく、かかとのある履物を履き、ライフジャケットを着用、堤防の縁からのぞき込まない。(立入禁止区域には絶対に入らない)



【川での水の事故を防止するためのポイント】

- 川で遊ぶ時は、滑りにくく脱げにくいのかかとのある履物を履き、ライフジャケットを着用する。
- 風雨、落雷等の天候不良時、上流で雨が降っている、河川等が増水するおそれが高いときには川に近づかない。(上流などで雨が降ると、一気に水位が上昇し危険になる)
- ダムのある川では、事前に放流情報を確認し、サイレンが鳴ったらすぐに離れる。



【ため池・用水路での水の事故を防止するためのポイント】

- 立入禁止の場所には絶対に立ち入らない。(ため池で誤って転落し、死亡事故が発生している)



【園における安全対策】

- 水辺の活動エリアに応じた危険箇所を把握し、チェックリストを活用した安全対策を講じます。
- お子さまへの安全教育では、水際に落ちたものを拾ったり、身を乗り出したり、水面を覗き込むなどの危険行為が転落・落水に繋がることを伝えます。
- 水辺で活動を行う際は、滑らないように運動靴やウォーターシューズを使用します。
- 水中・水上での活動時は、浅くてもライフジャケット、必要に応じヘルメットを着用します。



【参考】

[consumer_safety cms205_220720_02.pdf \(caa.go.jp\)](https://www.caa.go.jp/consumer_safety/cms205_220720_02.pdf)

* 園はこちらに基づいて安全対策を行っています。ご家庭におかれましても、参考になさってください。